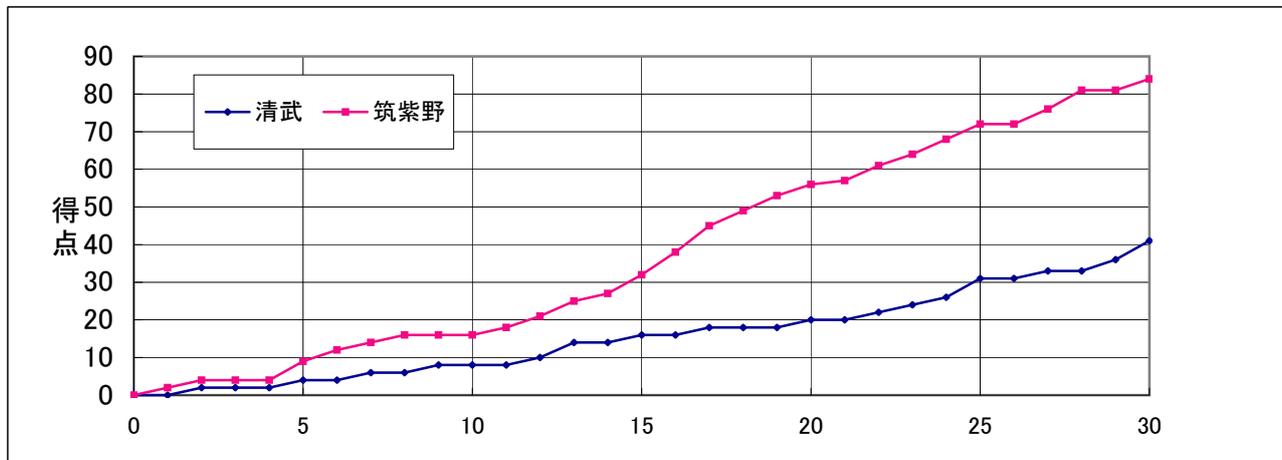


大会名	平成21年度 第30回全九州中学生 バスケットボール春季選手権大会	B2	10:50	男子1回戦															
		清武 47 (宮崎2位) ●	<table border="1"> <tr><td>6</td><td>—</td><td>16</td></tr> <tr><td>10</td><td>—</td><td>22</td></tr> <tr><td>10</td><td>—</td><td>30</td></tr> <tr><td>21</td><td>—</td><td>20</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	6	—	16	10	—	22	10	—	30	21	—	20	—	—	—	88 筑紫野 ○ (福岡1位)
				6	—	16													
10	—	22																	
10	—	30																	
21	—	20																	
—	—	—																	
期日	2010年(平成22年)3月13日(土)																		
会場	大分県立総合体育館																		

主審 椋園 亨 副審 堀之内 健治



タイム・アウト(経過時間)					
1Q・2Q	3Q・4Q		OT1	OT2	
05:26	—	18:23 28:21	—	—	—

清武							
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	
4	* 黒木 靖大 (C)	9	1	3	0	4	
5	* 黒木 風汰	7	1	2	0	3	
6	* 黒岩 郁弥	8	0	4	0	2	
7	八田 祐貴	—	—	—	—	—	
8	黒田 隆介	—	—	—	—	—	
9	* 長友 俊樹	6	0	3	0	0	
10	* 畝原 成樹	12	0	6	0	2	
11	佐伯 圭斗	2	0	1	0	0	
12	新原 洸介	3	1	0	0	0	
13	長友 淳哉	0	0	0	0	0	
14	黒木 郁弥	—	—	—	—	—	
15	横山 皓平	—	—	—	—	—	
16	戸高 悠佑	—	—	—	—	—	
17							
18							
コーチ	小山 かおる						
合計		47	3	19	0	11	

タイム・アウト(経過時間)					
1Q・2Q	3Q・4Q		OT1	OT2	
13:24 15:58	—	—	—	—	—

筑紫野							
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	
4	* 帯刀 滉暉 (C)	16	2	5	0	0	
5	* 砥綿 啓伍	18	2	6	0	0	
6	* 野中 亮吾	10	0	5	0	1	
7	中村 文紀	16	2	4	2	0	
8	* 原田 成斗	3	1	0	0	0	
9	鐘江 啓斗	—	—	—	—	—	
10	* 添田 拓斗	4	0	2	0	0	
11	市川 恭平	0	0	0	0	0	
12	濱田 健太	4	0	2	0	1	
13	安藤 琢郎	13	0	6	1	0	
14	瀬戸 洸平	2	0	1	0	0	
15	久松 龍孔	0	0	0	0	0	
16	田代 浩太郎	2	0	1	0	0	
17	上野 達也	0	0	0	0	0	
18							
コーチ	帯刀 三寛						
合計		88	7	32	3	2	

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

1Q 清武#10畝原、筑紫野#12濱田のティップオフで試合が始まる。ディフェンスは清武、ハーフコートマンツーマン。筑紫野、オールコートマンツーマンでスタートし、開始早々、筑紫野の#7中村のドライブで先制。しかし、両チームとも初戦で緊張のせいかシュートが決まらない。清武は#6黒岩、#9長友の連攻で点を返すが、筑紫野は#7中村の連続3P、#4帯刀のミドルシュートにより12-4になる。たまたま清武がタイムアウト。その後も筑紫野#12濱田#5砥綿のミドルシュートにより加点し16-6の筑紫野リードで終わる。

2Q 筑紫野は2-1-2のゾーンディフェンス、清武はハーフコートマンツーマンで始まる。清武はセンター#10畝原にボールを集め、反撃を開始。一方、筑紫野は#7中村のペネトレイトからリング下の#12濱田へのパス、#4帯刀の3Pと加点をしていく。残り2分30秒、清武がタイムアウト。タイムアウト後、清武#6黒岩の連攻が決まるが、筑紫野の厳しいディフェンスにより得点できず。その後も、筑紫野#5砥綿、#12濱田の連攻により38-16で終わる。

3Q 筑紫野#5砥綿の3Pで始まる。すぐさま清武#10のセンタープレーにより点を取り返す。筑紫野は2-2-1のプレスから#6野中の連続ミドルシュート、#5砥綿、#7中村のペネトレイトにより加点。残り5分30秒、53-18になったところで清武がタイムアウトを取る。清武#10畝原、#6黒岩の高さで勝る二人で点を取るが、筑紫野のディフェンスを崩せず、#4帯刀#6野中#5砥綿の連続ゴールにより68-26で終わる。

4Q 筑紫野2-3のゾーン、清武2-1-2ゾーンで始まる。清武は#4黒木、#5黒木の3P、#10畝原の連続ゴール下で反撃。しかし、筑紫野は厳しいディフェンスにより反撃を許さない。清武は残り3分39秒でタイムアウト。筑紫野はスタートメンバー全員がベンチに下がり、ゲームコントロールを始める。清武#9長友、ミドルシュート、#12新原の3Pと連続得点で追いつく。その後、一進一退の攻防を繰り上げ、88-46で筑紫野が勝利を収める。

© 2010 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.0063

田辺、石田 (所属) 大分県バスケットボール協会